

## 子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言つて育つと、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引つ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思つてしまふ  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つけてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守つてあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

子どもの声に耳を澄ましてください。

プレッシャーをかけすぎると、子どもは疲れてしまふ  
厳しいルールを押しつけられれば、子どもはルールを破る方法を探す  
好き勝手にさせると、子どもは人の気持ちに鈍感になる  
失敗を繰り返すと、子どもは自信を失ふ  
約束を破られると、子どもは失望を味わう  
否定されると、子どもは苦しむ  
ひとりの人間として大切にされれば、子どもは思いやりのある人間になる  
親を信頼できる子どもは、本当のことを話してくれる  
大らかな家庭に育てば、子どもは考える力をはぐくむ  
先のことを考えて行動できれば、自分の行くべき道が見える  
責任感を育てれば、子どもは自分で考えて行動できるようになる  
親が身体にいい習慣をもっていれば、子どもも自分の身体を大切にす  
支えてあげれば、子どもは自分に自信をもつようになる  
表現できる場をもてば、子どもは本当の自分を出せる  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
子どもを信じて見守れば、子どもはよりよい世界を目指して歩いてゆける

### 『子どもが育つ魔法の言葉』(ドロシー・ロー・ノルト 著)

ドロシー・ロー・ノルト博士は四十年以上にわたつて家族関係ついで  
の授業や講演を行い、家庭教育の子育てコンサルタントの第一人者。  
著書の『子どもが育つ魔法の言葉』は、各国で多くの共感を呼び、  
特に日本では百二十万部を超す大ベストセラーとなった。